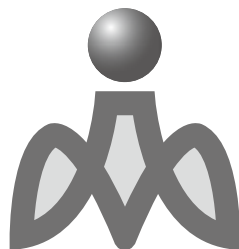


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔令和2年4月～6月実績〕  
〔令和2年7月～9月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

# 目 次

I 調 査 要 領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	3
(2) 主な項目で見る業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	6
(2) 主な項目で見る業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	9
(2) 主な項目で見る業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	12
(2) 主な項目で見る業況 .....	12

## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第1四半期 令和2年4月～6月期 「調査時点：令和2年6月1日」

### 3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サ ー ビ ス 業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

### 5. そ の 他

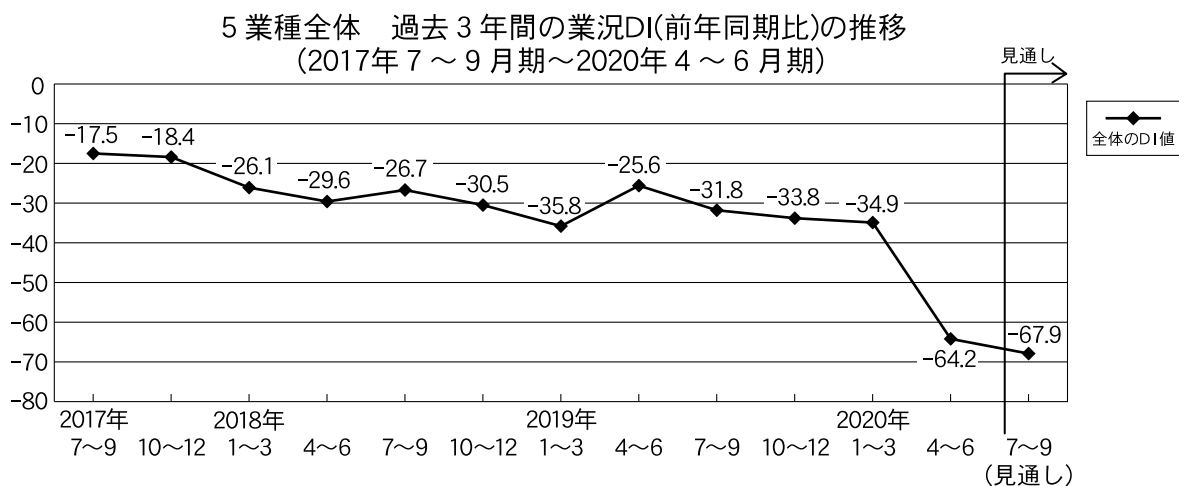
本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

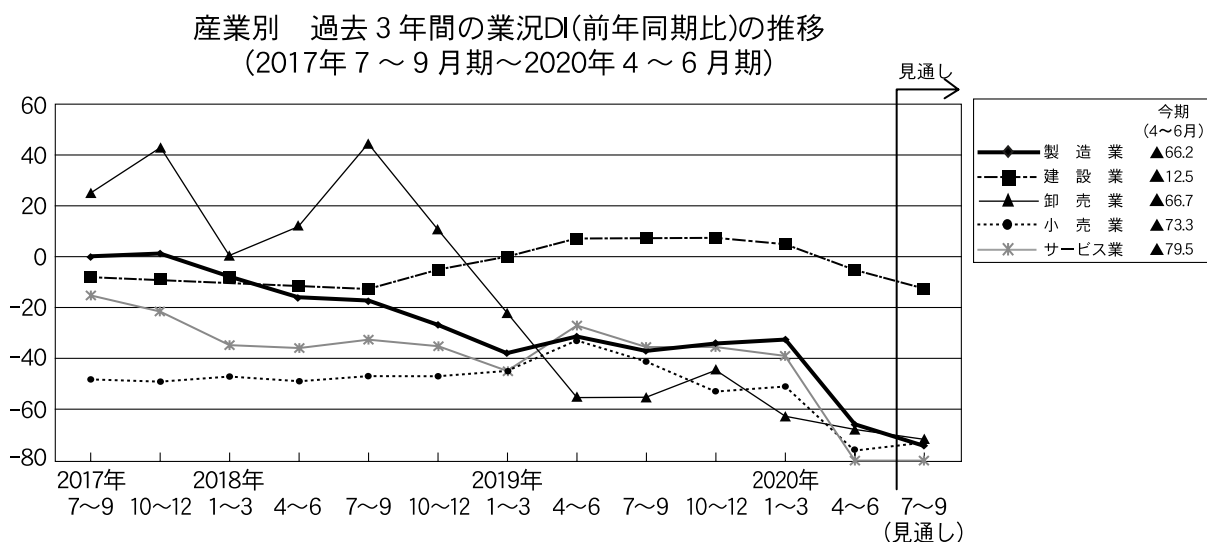
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲64.2と前期比で29.3ポイント急激に悪化している。来期については、▲67.9へとさらに悪化する見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

全産業で悪化の結果となった。製造業が▲66.2と前期比で33.7ポイント、建設業が▲12.5と前期比で▲17.5ポイント、卸売業が▲66.7と前期比で▲4.2ポイント、小売業が▲73.3と前期比で▲21.8ポイント、サービス業が▲79.5と前期比で▲40.0ポイント悪化している。

来期は、小売業が今期より若干改善、サービス業が今期同様の見通しであるが、製造業、建設業、卸売業はさらに悪化の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの124企業を含めた289サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

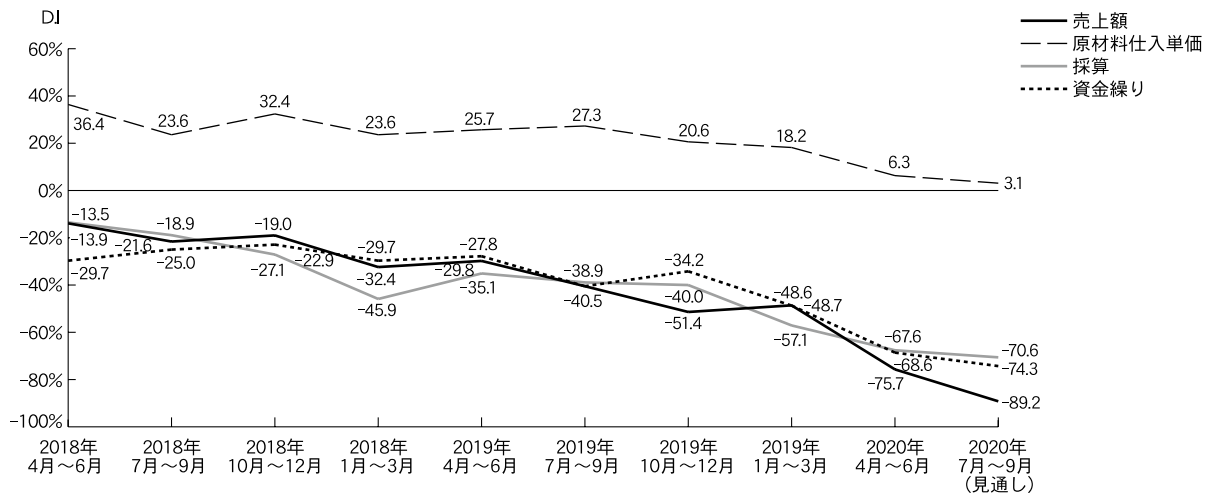
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲75.7と前期比で27.0ポイント悪化しており、来期も▲89.2とさらに悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期は6.3と前期比で11.9ポイント下降（改善）しており、来期は3.1とさらに改善の見通し。採算D Iは、今期は▲67.6と前期比で10.5ポイント悪化しており、来期は▲70.6とさらに悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期は▲68.6と前期比で20.0ポイント悪化しており、来期も▲74.3とさらに悪化の見通しである。

今期は、原材料仕入単価D I以外は全て悪化している。来期も、原材料仕入単価D I以外は全て悪化の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



### (2) 主な項目でみる業況

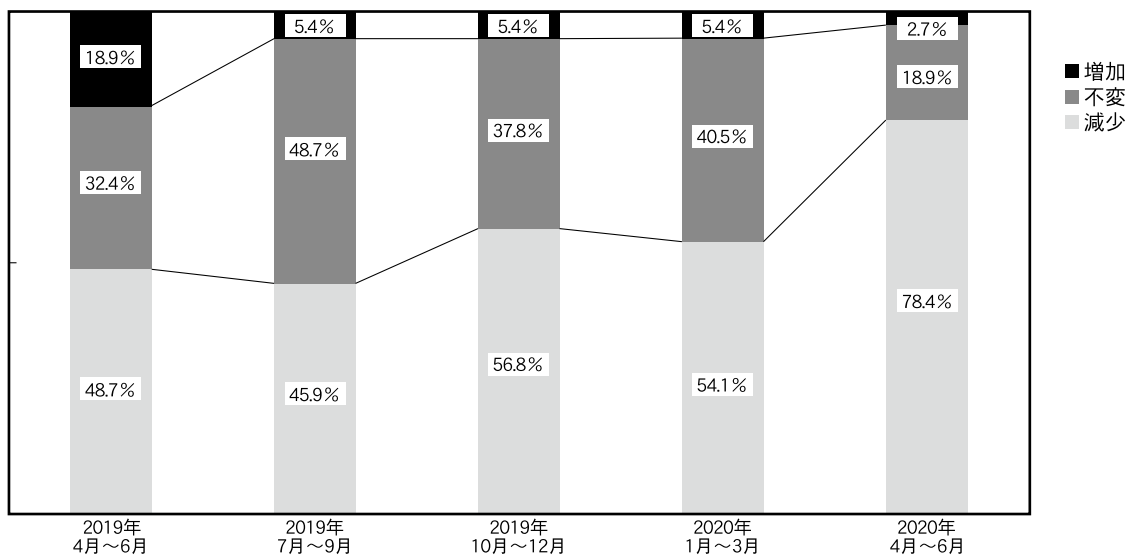
#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、2.7%（1社）と減少（前期比▲1社）している。

「不変」は18.9%（7社）と減少（前期比▲8社）、

「減少」は78.4%（29社）と増加（前期比+9社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数34社（前回35社））

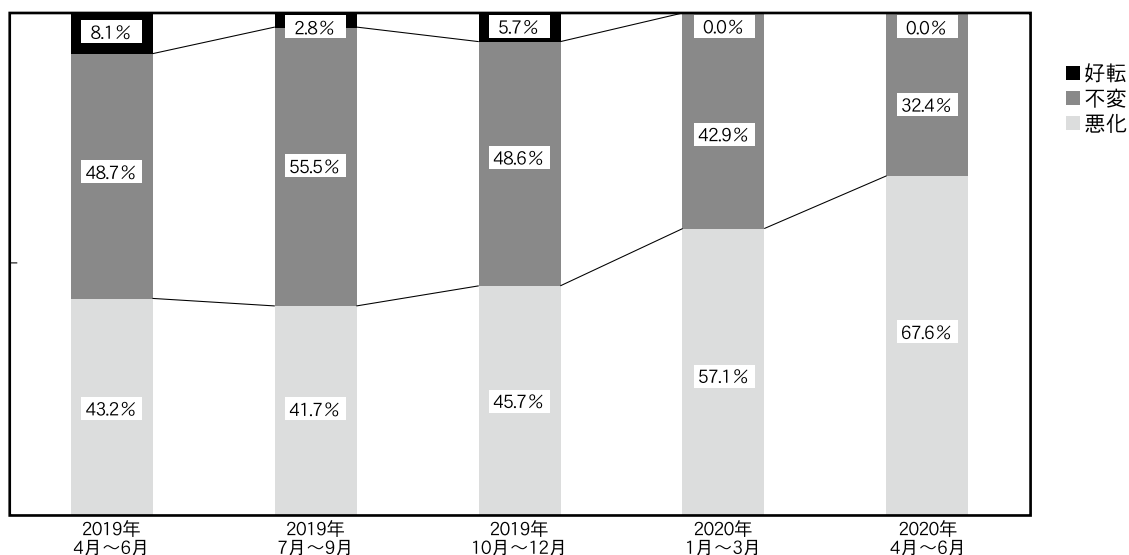
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、0%（0社）で前回より変化なし。

「不変」は32.4%（11社）と減少（前期比▲4社）、

「悪化」は67.6%（23社）と増加（前期比+3社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

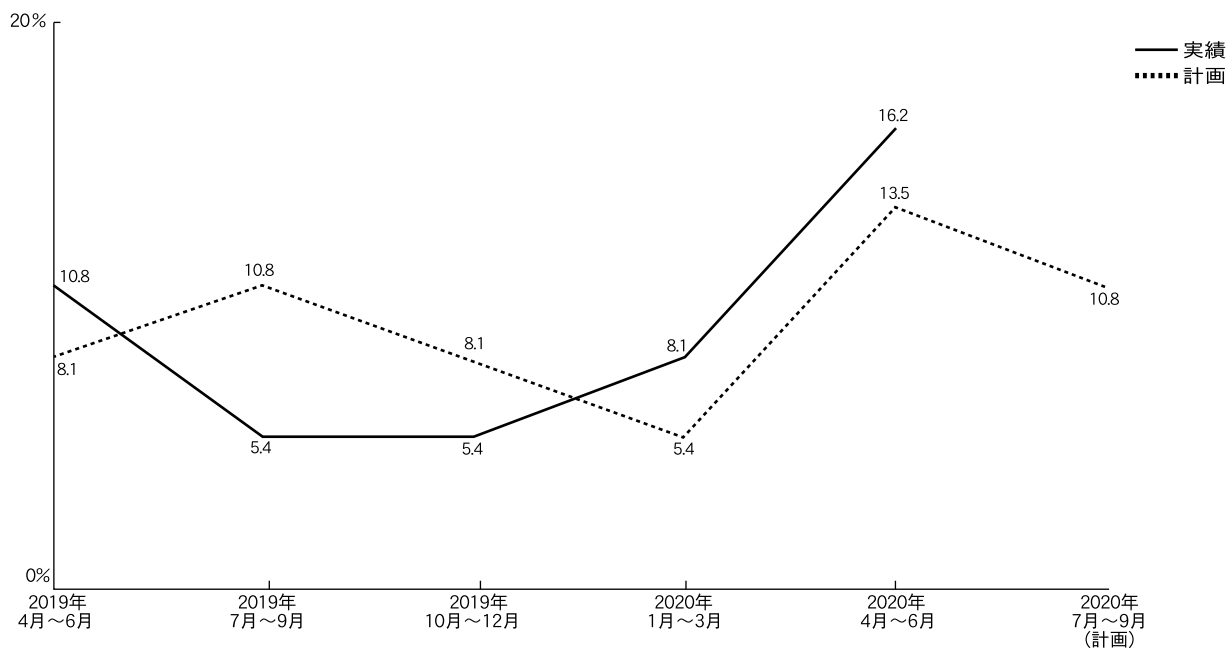


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は16.2%（6社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」「車両・運搬具」が2件ずつ、「工場建物」「OA機器」「福利厚生施設」が1件ずつであった。

来期の計画については、10.8%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」が2件、「車両・運搬具」「OA機器」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数32社）

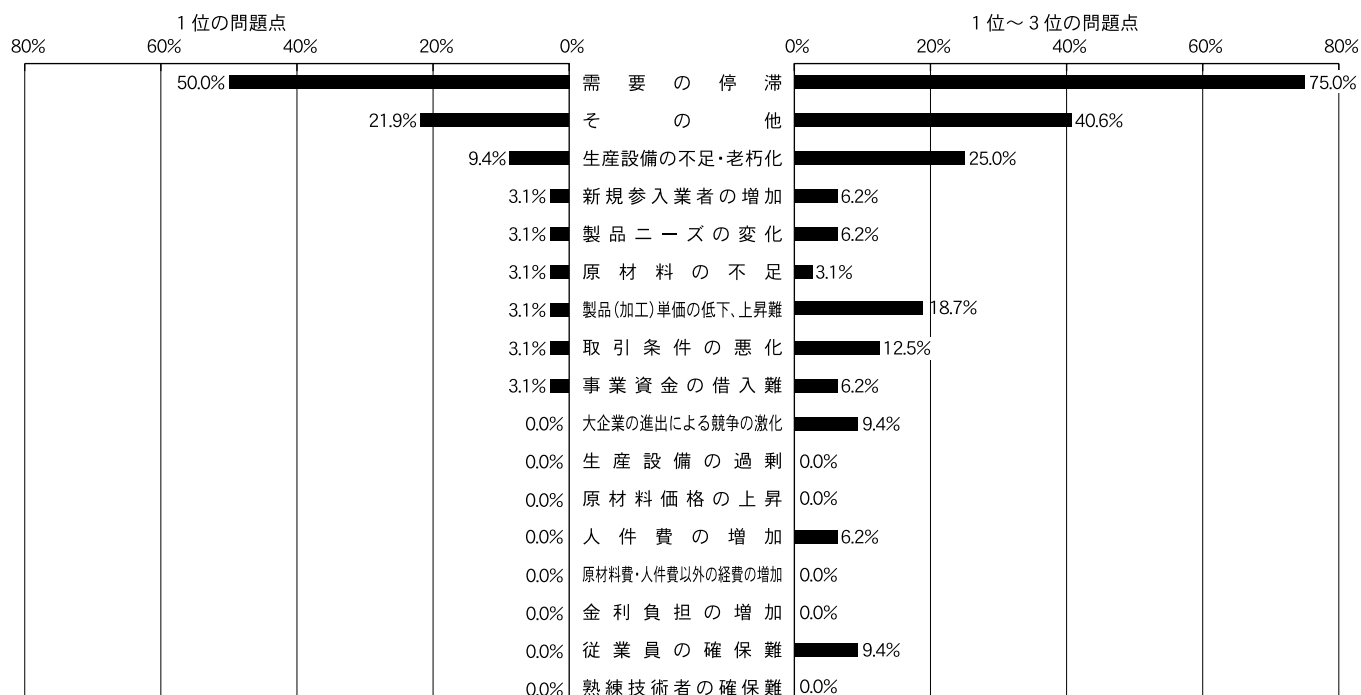
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の50.0%（16社）であり、2番目は、「生産設備の不足・老朽化」の9.4%（3社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の75.0%（24社）であり、2番目は、「生産設備の不足・老朽化」の25.0%（8社）である。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	4	10.8
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	3	8.1
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	14	37.9
電気機械器具製造業	3	8.1
輸送用機械器具製造業	0	0.0
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

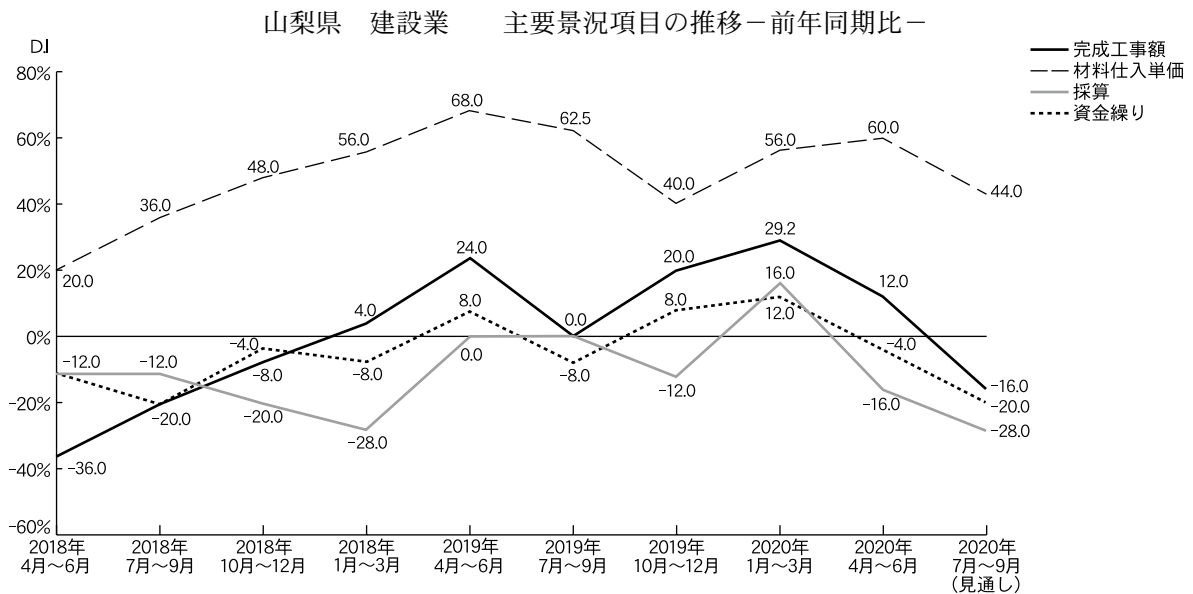
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	17	46.0	15	40.6
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	9	24.3
11人～20人以下	5	13.5	6	16.2
合計	37	100.0	37	100.0

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は12.0と前期比17.2ポイント悪化しており、来期も▲16.0とさらに悪化する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は60.0と前期比4.0ポイント上昇（悪化）しているものの、来期は44.0と低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲16.0と前期比32.0ポイント悪化しており、来期も▲28.0と悪化する見通し。資金繰りD Iも、今期は▲4.0と前期比16.0ポイント悪化しており、来期も▲20.0と悪化する見通しである。

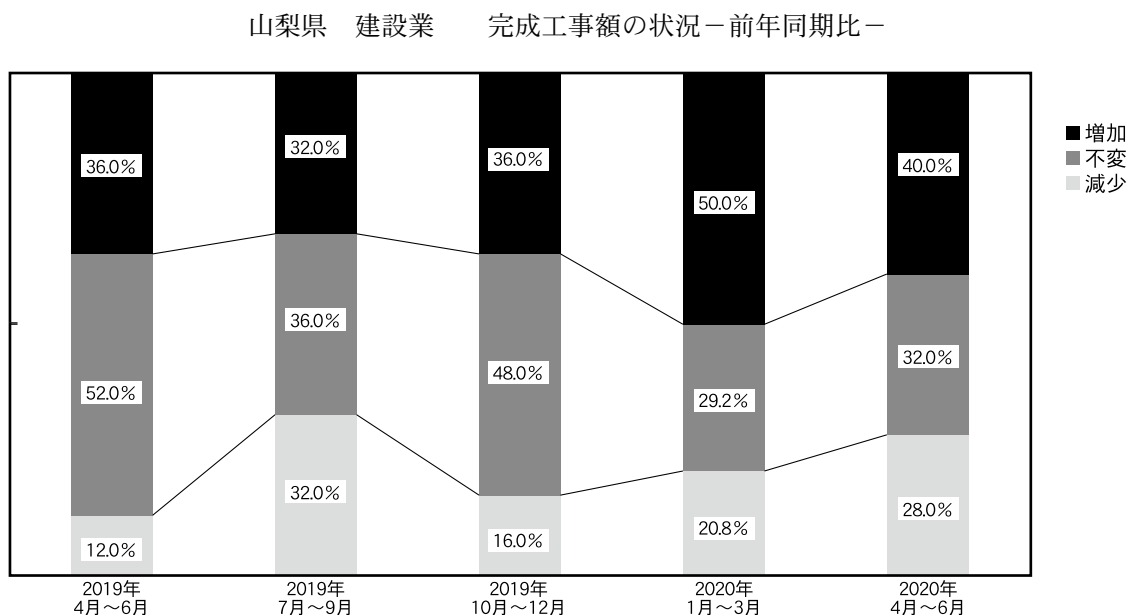
今期は、全てのD Iが悪化している。来期は、材料仕入単価D Iのみ改善の見通し、他は全て悪化の見通しである。



#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社（前回24社）））

「増加」と答えた企業の割合は、40.0%（10社）と減少（前期比▲2社）している。「不変」は32.0%（8社）と増加（前期比+1社）、「減少」は28.0%（7社）と増加（前期比+2社）している。





② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

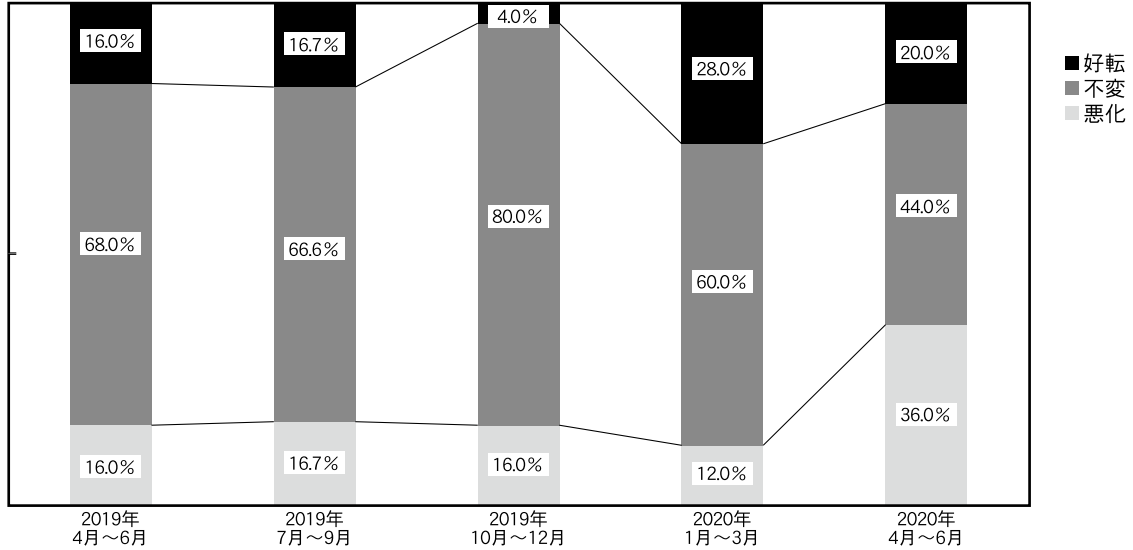
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、20.0%（5社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は44.0%（11社）と減少（前期比▲4社）、

「悪化」は36.0%（9社）と増加（前期比+6社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

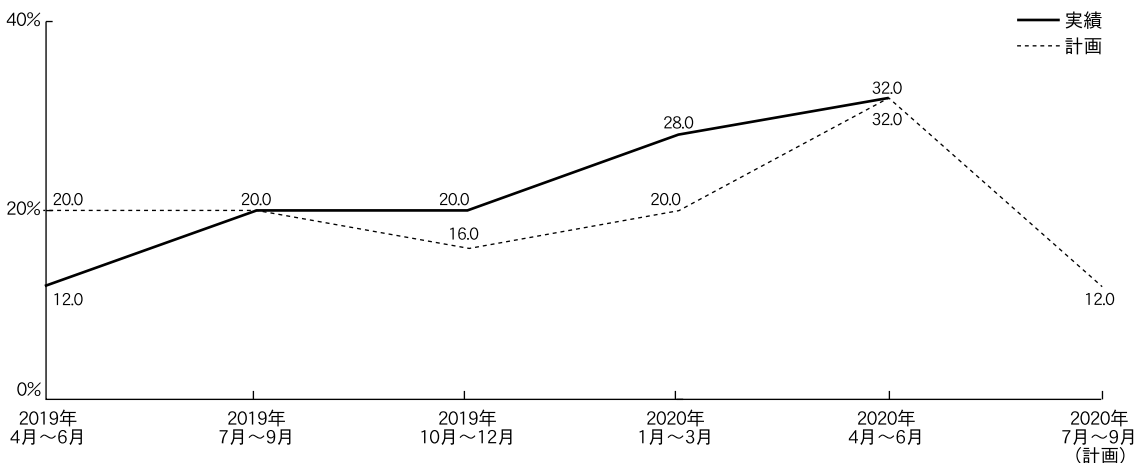


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は32.0%（8社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「OA機器」が2件、「建物」「建設設備」「付帯設備」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、12.0%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」「OA機器」が2件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数22社）

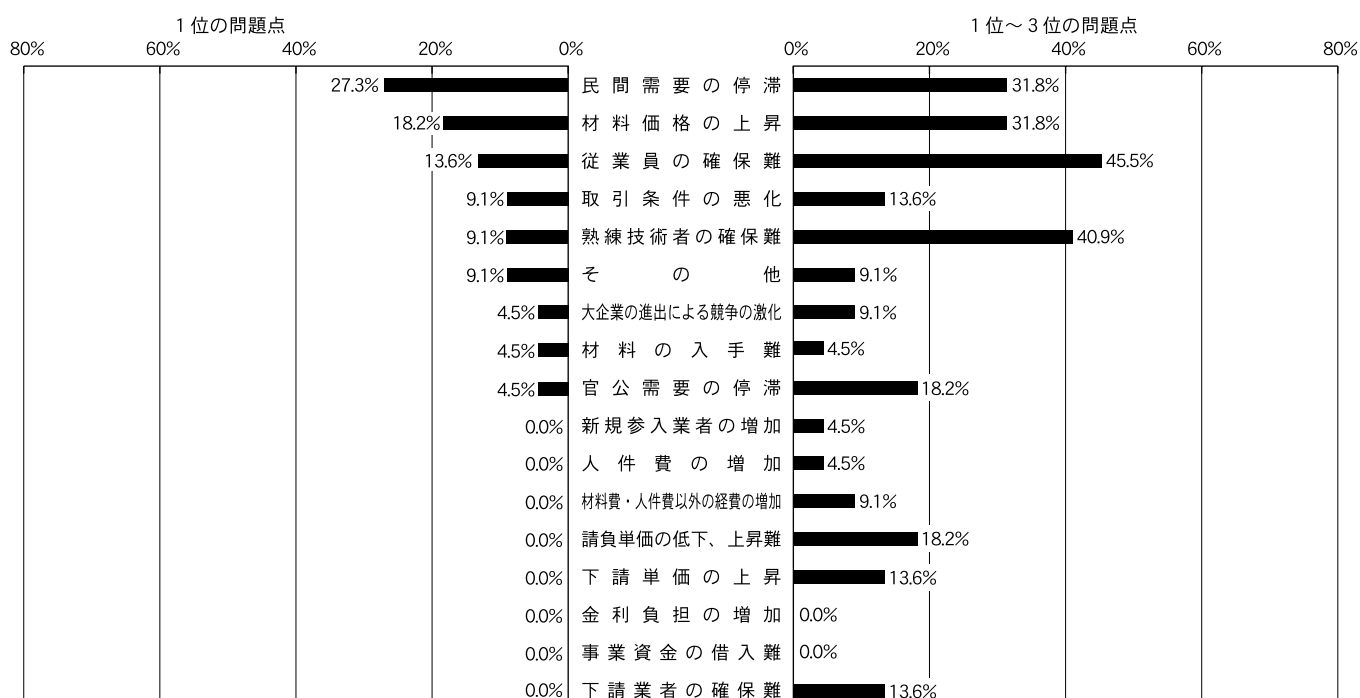
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「民間需要の停滞」の27.3%（6社）であり、2番目は、「材料価格の上昇」の18.2%（4社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の45.5%（10社）であり、2番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の40.9%（9社）である。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	17	68.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	4	16.0
合計	25	100.0

従業員規模別

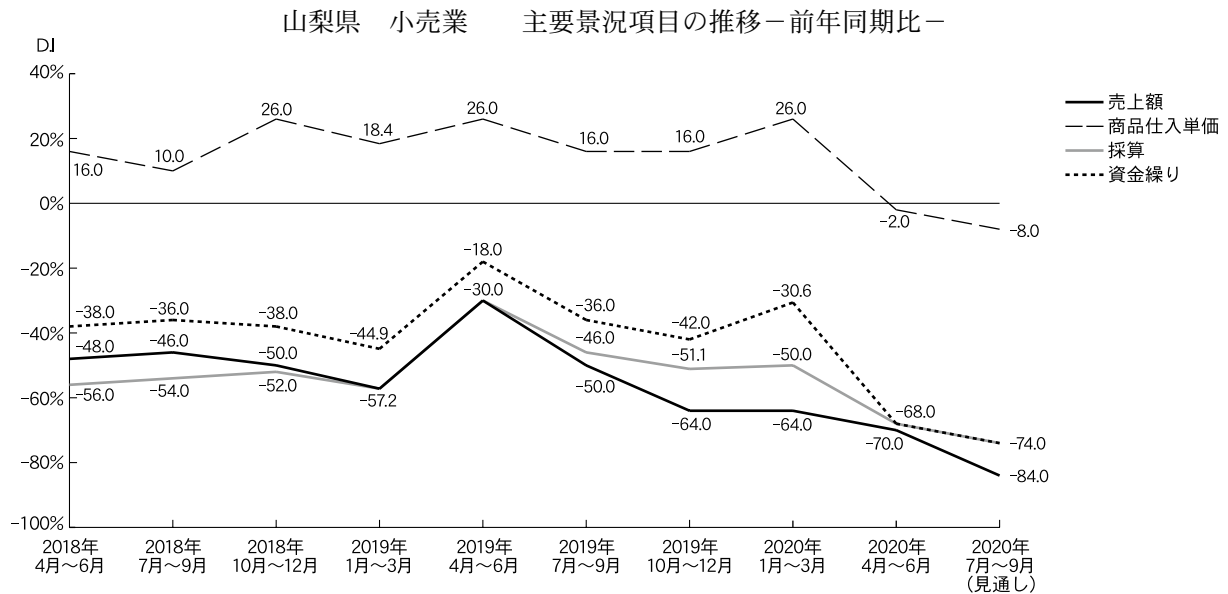
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	10	40.0	8	32.0
3人～5人以下	5	20.0	7	28.0
6人～10人以下	4	16.0	4	16.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額DIは、今期は▲70.0と前期比6.0ポイント悪化しており、来期も▲84.0とさらに悪化する見通しである。商品仕入単価DIは、今期は▲2.0と前期比で28.0ポイント下降（改善）しており、来期も▲8.0と下降（改善）する見通しである。採算DIは、今期は▲68.0と前期比で18.0ポイント悪化しており、来期も▲74.0と悪化の見通し。資金繰りDIも、今期は▲68.0と前期比で37.4ポイント悪化しており、来期も▲74.0と悪化する見通しである。

今期は、商品仕入単価DIを除いて悪化している。来期も商品仕入単価DIを除いて悪化の見通しである。



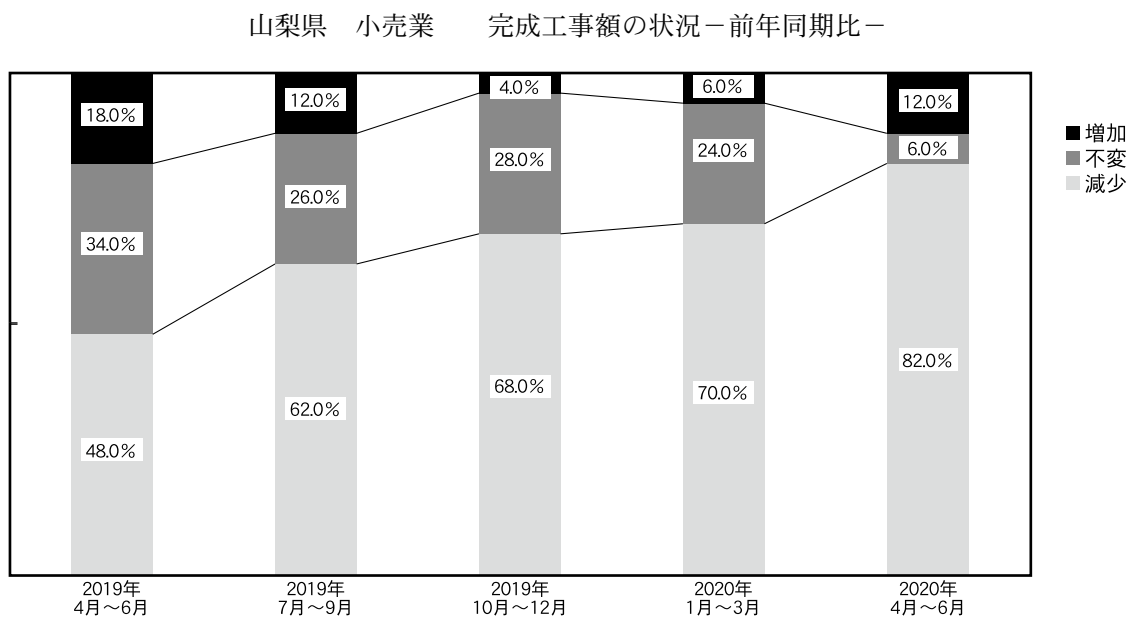
### (2) 主な項目でみる業況

#### ① 売上額（売上額DIの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、12.0%（6社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は6.0%（3社）と減少（前期比▲9社）、

「減少」は82.0%（41社）と増加（前期比+6社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社））

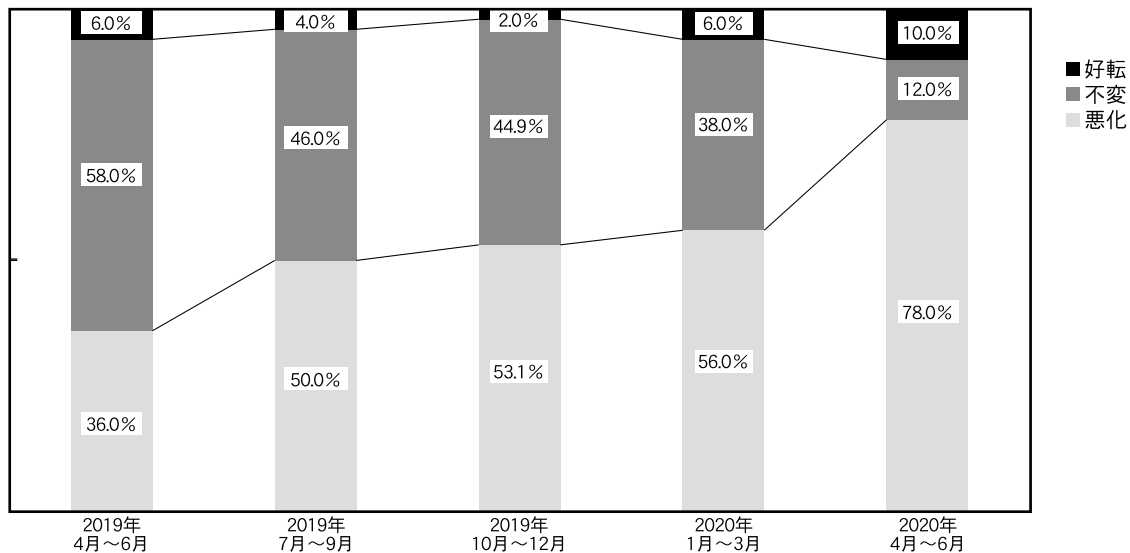
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、10.0%（5社）と増加（前期比+2社）している。

「不変」は12.0%（6社）と減少（前期比▲13社）、

「悪化」は78.0%（39社）と増加（前期比+11社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

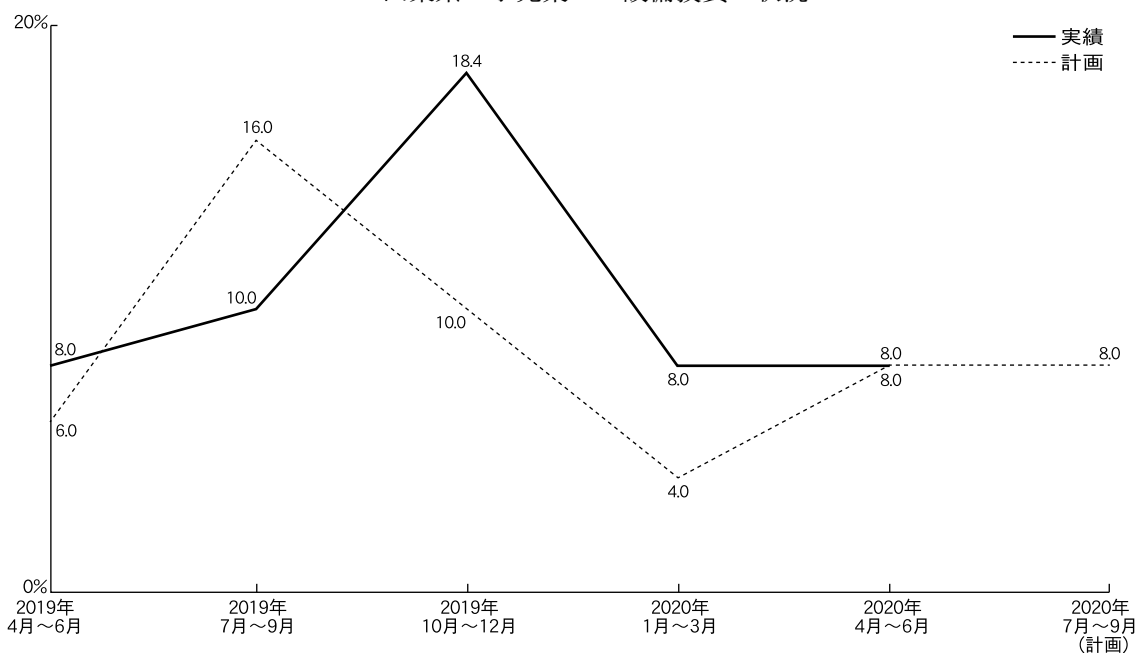


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は8.0%（4社）であった。その設備投資の内容は、「その他」が2件、「販売設備」「車両・運搬具」が1件ずつであった。

来期の計画についても、8.0%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「店舗」「販売設備」「車両・運搬具」「OA機器」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

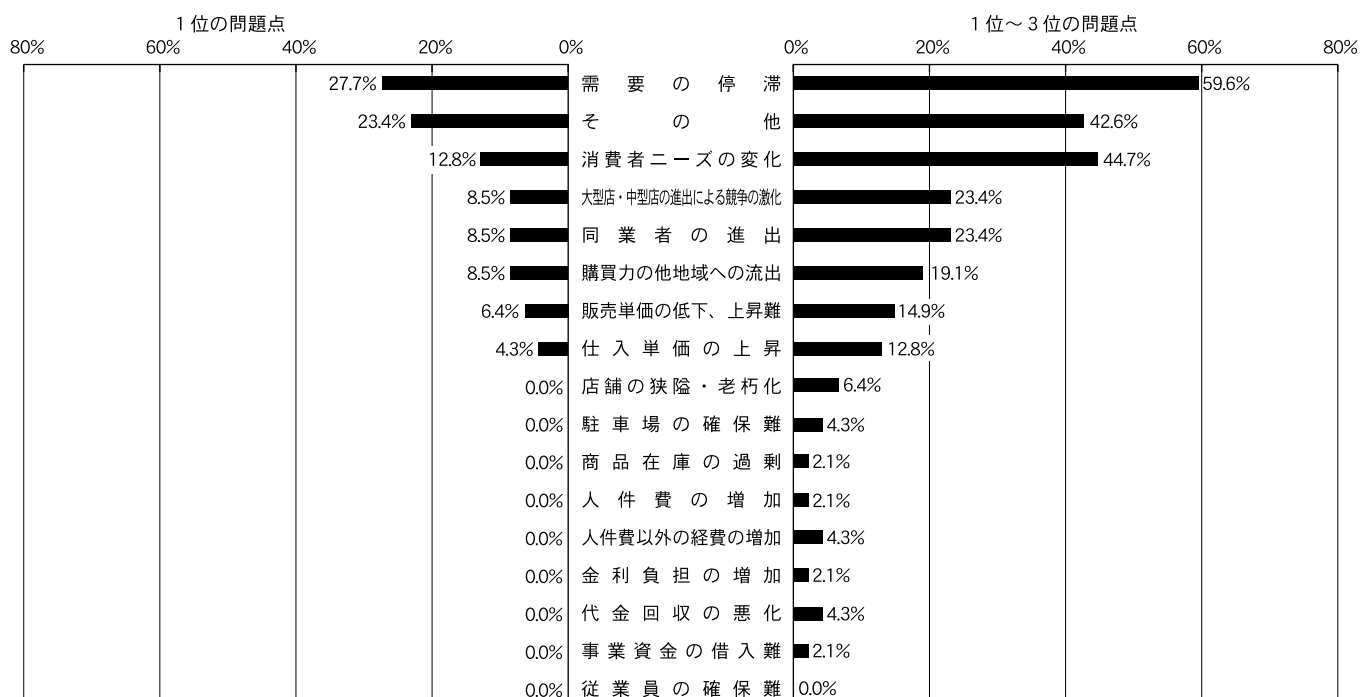
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の27.7%（13社）であり、2番目は、「消費者ニーズの変化」の12.8%（6社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の59.6%（28社）であり、2番目は、「消費者ニーズの変化」の44.7%（21社）である。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	10	20.0
飲食物品小売業	17	34.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	17	34.0
合計	50	100.0

従業員規模別

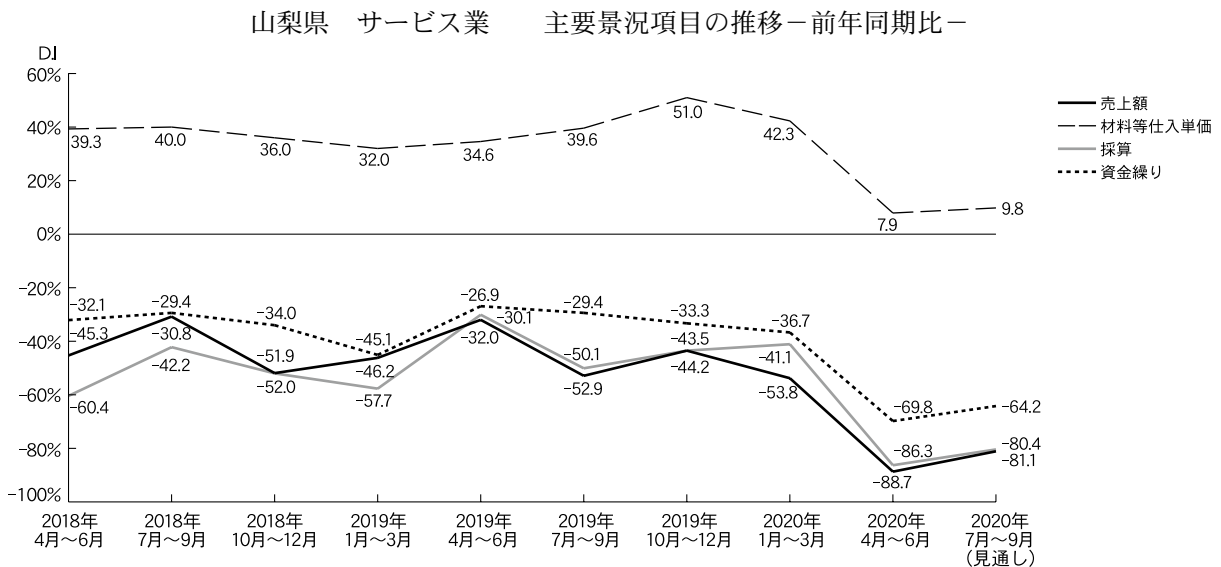
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	47	94.0	40	80.0
3人～5人以下	3	6.0	10	20.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲88.7と前期比で34.9ポイント悪化しているが、来期は▲81.1と底打ちの見通しである。材料等仕入単価D Iは、今期は7.9と前期比で34.4ポイント下降（改善）しているが、来期は9.8と僅かに上昇（悪化）する見通しである。採算D Iは、今期は▲86.3と前期比で45.2ポイント大幅に悪化しているが、来期は▲80.4と若干の改善の見通しである。資金繰りD Iも、今期は▲69.8と前期比で33.1ポイント悪化しているが、来期は▲64.2と若干の改善の見通しである。

今期は、材料等仕入単価D I以外の全てのD Iが大きく悪化した。売上額、採算、資金繰りの各D Iは今期で底打ちし、来期は改善する見通しである。



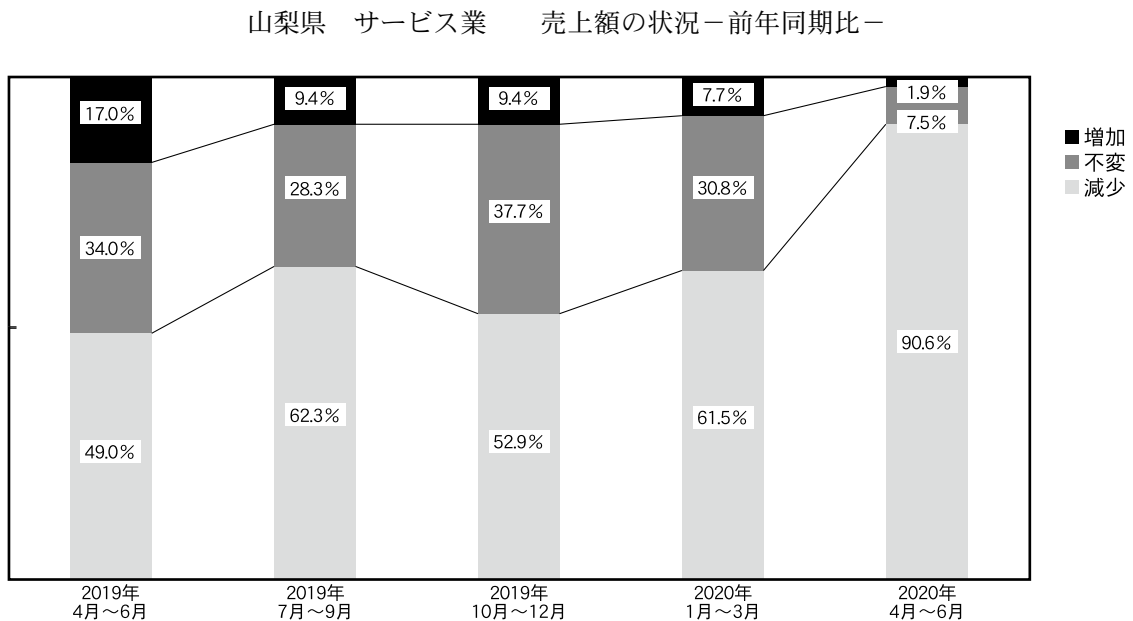
### (2) 主な項目でみる業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社（前回52社）））

「増加」と答えた企業の割合は、1.9%（1社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は7.5%（4社）と減少（前期比▲12社）、

「減少」は90.6%（48社）と増加（前期比+16社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数51社））

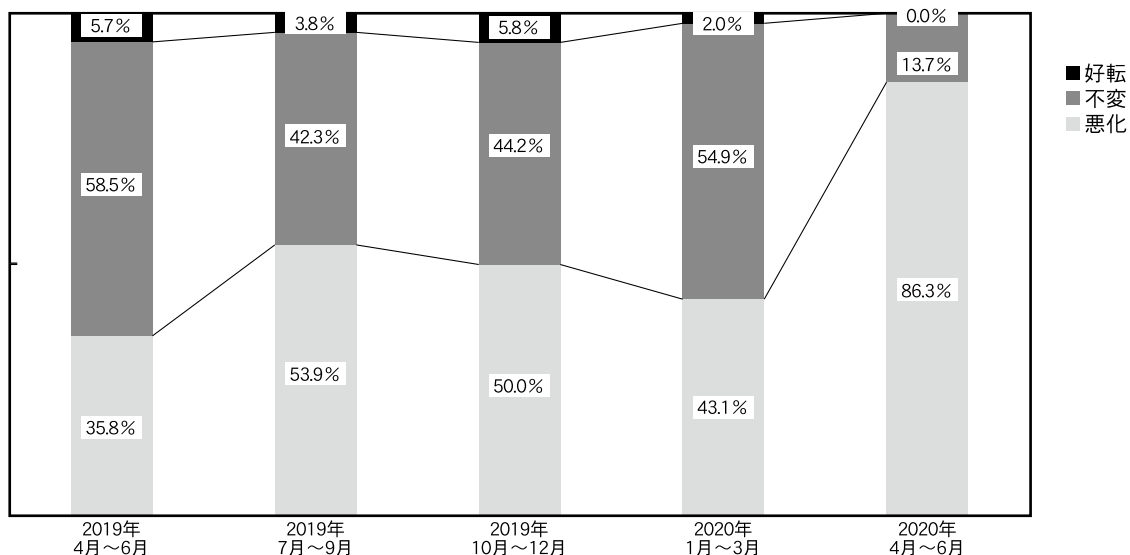
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、0.0%（0社）と減少（前年比▲1社）している。

「不変」は13.7%（7社）と減少（前期比▲21社）、

「悪化」は86.3%（44社）と増加（前期比+22社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

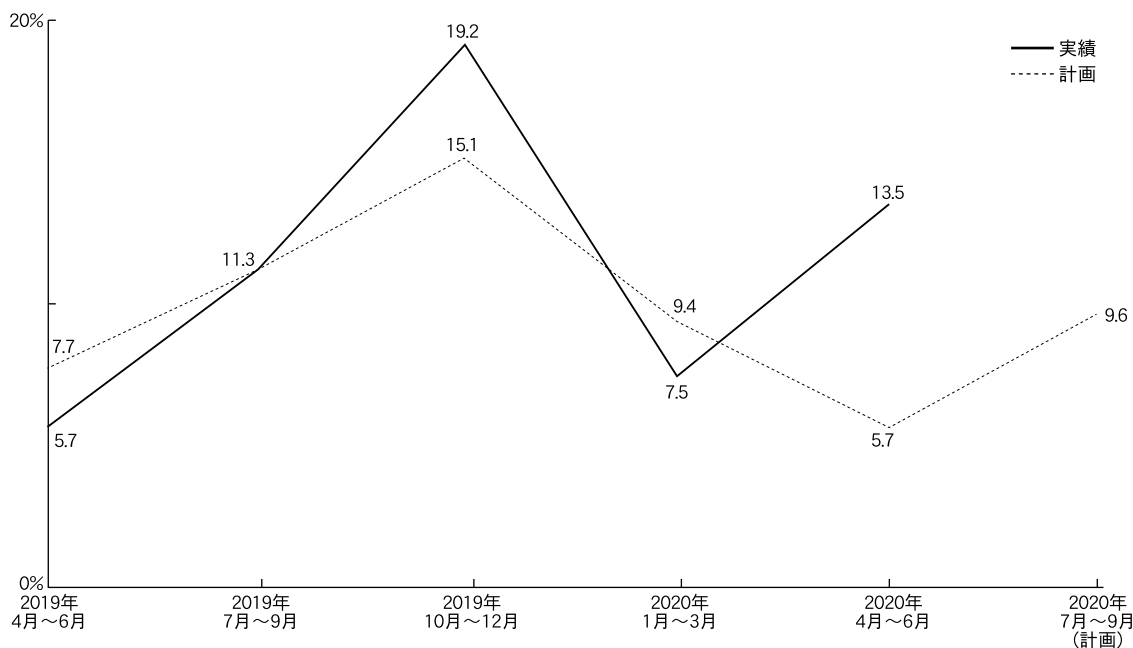


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数52社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（7社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」が3件、「その他」が2件、「建物」「車両・運搬具」が1件ずつであった。

来期の計画については、9.6%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建物」「付帯設備」が2件ずつ、「車両・運搬具」が1件になる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

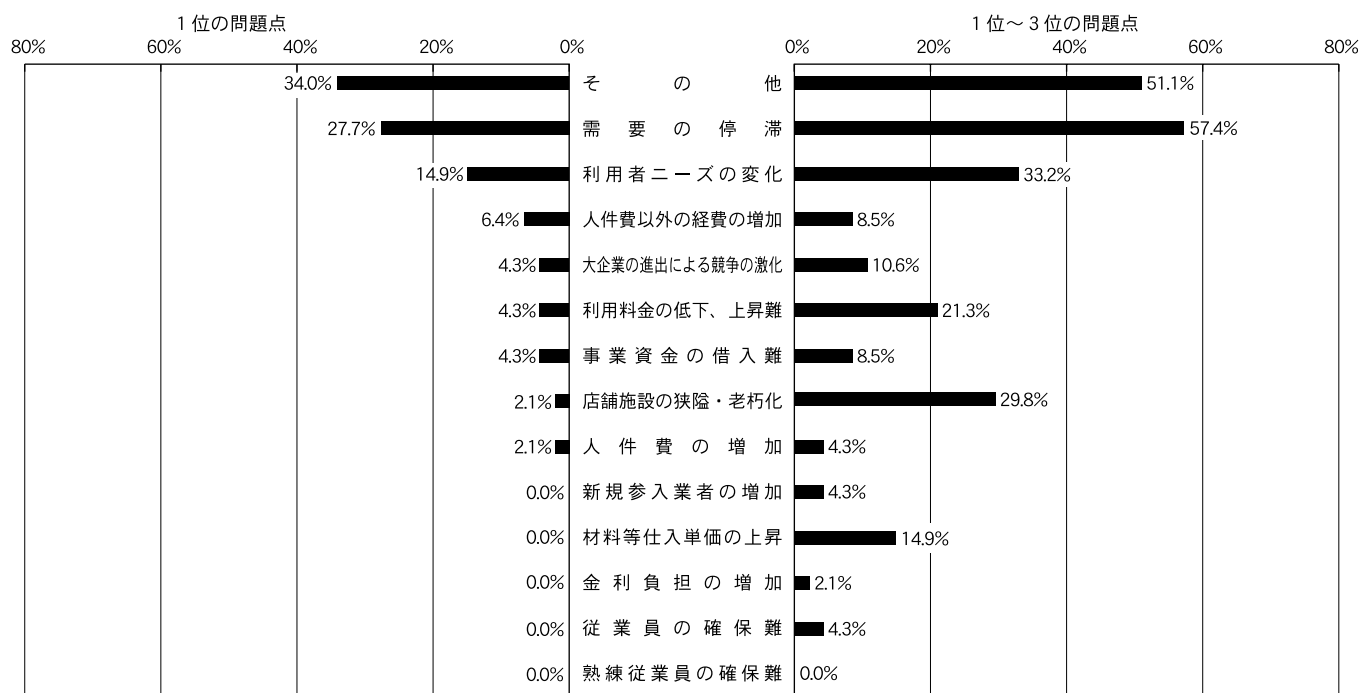
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の27.7%（13社）であり、2番目は、「利用者ニーズの変化」の14.9%（7社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の57.4%（27社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の36.2%（17社）である。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	2	3.8
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	18	34.0
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	41	77.4
3人～5人以下	8	15.1	11	20.7
6人～10人以下	0	0.0	1	1.9
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0